

PTX+Tmab(q1w)

対象

乳癌

投与順	抗癌剤名	投与量	手技	投与時間・速度	投与日(d1,d8等)
1	トラスツズマブ	4mg/kg(初回)	点滴静注	90min	d 1(初回のみ)
		2mg/kg(2回目以降)		60min	d 1(2回目以降)
2	パクリタキセル	80mg/m ²	点滴静注	60min	d 1

1コース期間	7日間	
総コース数	規定せず	
コース間での休薬の規定	投与開始前に以下の基準を満たしていることを確認する。満たしていない場合は休薬し、基準を満たした時点で投与を開始する。なお、コース開始が延期された場合は、延期された開始日をそのコースのday1とし、以降のスケジュールはこれに従う。	
投与量の増量規定	規定せず	
減量規定・中止基準	38℃以上の発熱を伴う好中球減少症(250 以下) あるいはコントロールできない嘔気や全身倦怠感が生じた時、60mg/m ² とする。 アレルギー反応(血圧低下、呼吸困難、蕁麻疹、浮腫等)が生じた場合は本治療を中止とする。 投与開始予定日より21日を越えても以下の開始基準を満たさない場合は、本治療を中止とする。	
コースによる変化	規定せず	
投与間隔の短縮規定	規定せず	
2コース目以降の投与開始基準	自覚症状、一般臨床所見 白血球数 好中球 血小板 熱発 肝機能 腎機能 末梢神経障害、筋肉痛あるいは関節痛	Grade 0-2 2500/mm ³ 以上 500/mm ³ 以上 100000/mm ³ 以上 感染を伴う38℃以上の発熱がない AST, ALT, T-Bilいずれも基準値の上限2.5倍以下 クレアチニンが基準値の上限以下 Grade 0-2
注意すべき副作用		

PTX+Tmab(q1w)

1コース期間 7日

投与所要時間 初回:3時間45分
2回目以降:3時間15分

ルート	Rp	薬剤名	標準投与量	投与方法	投与速度	day1
主管	1	生食 50mL ★ルートキープ用		div	200mL/hr (15min)	○
	2	生食 250mL ハーセプチン 【 】mg/body	初回 4 mg/kg 2回目以降 2 mg/kg	div	初回:167mL/hr (90min) 2回目以降:250mL/hr (60min)	○
	3	カイトリルバッグ100mL デカドロン 6.6mg ファモチジン 20mg ★レスタミン錠 50mg 内服		div	400mL/hr (15min)	○
	4	生食100mL		div	200mL/hr (30min)	○
	5	生食 250mL パクリタキセル 【 】mg/body	80 mg/m ²	div	250mL/hr (60min)	○
	6	生食 50mL		div	200mL/hr (15min)	○

コメント

- ・PTX投与30分前、レスタミン錠50mg内服
- ・DEX:アレルギー症状の発現がない場合は、2コース目より3.3mgまで減量可

Reference:

Reference:Slamon, D. J., et al. Use of chemotherapy plus a monoclonal antibody against HER2 for metastatic breast cancer that overexpresses HER2. N Engl J Med 344(11):783-92.2001